

YMIワールド 2025-26 第3号



YMI WORLD

「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」

ワイズメンズクラブ国際協会

2025年9月



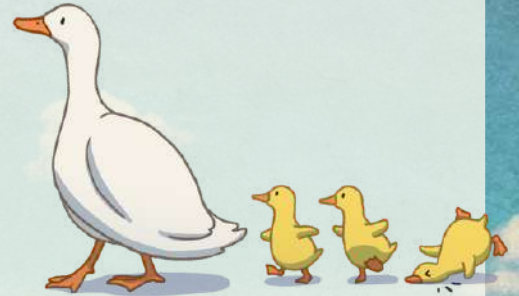
祝賀から誓約へ：台湾の台中グレートハーベストクラブのチャーターが100日間会員増強キャンペーンを鼓舞しました。

創造の不思議

ビリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任

多くの偉大な作家が、神の創造について大切なことを語ってくれました。以下の物語は、アレクサンドル・ソルジェニーツィンの著作をもとに創作したものです。

小さなアヒルの子が、細い脚でつまずき、滑稽にも湿った草に胸を押し付けながら、私の前を走り抜けていきました。「お母さんは、どこ？ 愛する人たちは、みんなどこ？」と鳴きながら。



実は、この子には本当の母親がいないんです。アヒルの卵をメンドリの下に置いて、メンドリが自分の卵と一緒に孵化させて、みんなを平等に温めていたんです。悪天候から守るため、彼らの住い—ひっくり返した籠—は、小屋に移され、古い袋で覆われていました。みんなそこにいるのに、この子だけは、逃げ出してしまったんです。さあ、小さな子よ、私の手のひらに横たわって。

こんなに小さなものに、一体どうして生命が存在するのでしょうか？ 重さなど微塵もなく、目は、小さなガラスの真珠のように黒く、足は、スズメのようで、少し力を入れれば消えてしまうほどです。それなのに、なんと温かいのでしょうか。くちばしは、まるで釘のように磨かれたような淡い暗赤色で、すでに特徴的な平らな形をしています。色も完璧で、足には既に水かきがあり、小さな羽毛のような羽が既に生え始めています。性格さえも、兄弟姉妹とは異なっています。

私たちは、もうすぐ金星へ飛ぶことができますでしょう。今この瞬間に、協力し合えば20分で地球を一周できます。しかし決して—決して—核の力を総動員しても、組み立てラインでこのようなものを生み出すことはできません。そう、たとえ羽根と骨を与られても、こんなにも軽やかで、儚い小さな黄色いアヒルを作ることはできないのです。

編集長から

YMIワールドに関するご意見やアイデアを共有するには、編集長にご連絡ください。

10月の強調月間テーマは、アレキサンダーサポート基金

インパクトストーリーを投稿するには、以下をクリックしてください
(締め切り2025年9月15日)

[編集長へ](#)

目次

キリスト教強調：創造の驚異	2
ビリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任	
国際会長メッセージ	4
エドワード・オン 国際会長	
国際本部ニュース	7
ジョース・ヴァルギース 国際書記長	
プラチナ、ダイヤモンド、ゴールデンクラブを祝して	9
会員増強	10
ヴァルギース・コラソン 会員増強国際事業主任	
戦略2032	11
ヘンリー・ワルサー 戦略2032タスクフォース委員長	
アフリカ地域ニュース	13
ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者	
アジア太平洋地域ニュース	15
利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者	
インド地域ニュース	16
ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者	
ヨーロッパ地域ニュース	18
ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	
韓国地域ニュース	20
チュン・キュンジュ 韓国地域ニュース編集者	
米国地域ニュース	21
メラニー・カアイフエ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者	
ワイズメネット - 壁を壊そう	23
リーラ・ゴパークリシュナ ワイズメネット国際主任	
ワイズメンズクラブ国際協会と国連プログラム	25
ロイス・マラセリー ワイズメンズクラブ国際協会国連プロジェクト 委員会委員)	
デヴォーション	26
ミラ・パブロワ ヨロッパ地域選出国際議員	



知恵の二重螺旋

目的を持って世代をつなぐ

エドワード・K・W・オン国際会長、YMIワールド編集長

世代間の分断が顕著なこの時代に、新たなタイプの組織が出現しています。それは、年齢の両極端に存在する、計り知れない未開拓の可能性を認識する組織です。これは単なるメンターシップ・プログラムや高齢者支援グループではありません。2つの重要な使命を織り交ぜた、先見性のあるモデルです。それは、能力のある高齢者を次世代のメンターとして呼び戻すと同時に、支援を必要とする高齢者にケアとサポートを提供することです。それは、与えることと受け取ることが美しく、そして実践的に結びついた共生のエコシステムです。

このモデルは、力強くもシンプルな前提に基づいています。それは、「すべての退職者の中には豊かな人生経験が宿っており、すべての若者の中には世界を変える可能性が秘められている」ということです。私たちの役割は、その宝庫を開き、その可能性を育むことです。

第1段階：有能な高齢者を思い出す

活力と知識に溢れた多くの退職者にとって、体系的なキャリアから退職へと移行することは、大きな空虚感を残す可能性があります。彼らの専門知識、苦勞して得た知恵、そしてプロフェッショナルとしての鋭い洞察力は、棚にしまっておくにはあまりにも貴重な資産です。

ワイズメン運動は、義務感からではなく、彼らの貢献への敬意から、こうした優秀なシニア世代を積極的に「呼び戻す」ことができます。学生、卒業生、若手社会人など、学ぶ意欲のある「有望な若い弟子」と彼らを慎重にマッチングさせる方法を検討することができます。メンターシップは、正式な研修にとどまらず、以下の内容を網羅しています。

- プロフェッショナルナビゲーション：業界のニュアンス、倫理的なジレンマ、そしてキャリアの長寿化
- ライフスキル：回復力、ネットワーキング、ワークライフバランスの維持に関する知恵を伝えます。
- 歴史的背景：実際に見てきたからこそ得られる視点を提供する 組織のサイクルと技術革命は繰り返されます。

メンターにとって、これは目的意識を再び燃え上がらせ、精神的な集中力を維持し、社会的な繋がりを強化することになります。彼らは単に記憶されるだけでなく、尊敬され、進歩の原動力として再び活躍するのです。

第2段階：困っている高齢者のケア

一方で、多くの高齢者は、身体的な衰弱、病気、孤独、経済的困難など、老後の生活において様々な課題に直面します。私たちの組織は、コミュニティのメンバーが誰一人取り残されることのないよう、以下のような強力な支援体制を構築しています。

- 仲間プログラム：定期的な交流を通して孤独の蔓延を緩和する 訪問や社会活動
- 実務支援：食料品の買い物、交通手段の手配、またはテクノロジーの支援
- 権利擁護と介護調整：必要な医療・社会サービスへのアクセスを確保

このセーフティネットは、尊厳、安全性、快適さを提供し、高齢者が思いやりのあるコミュニティ内で優雅に老後を過ごせるようにします。

共生の輪：二つの糸がどのように絡み合うか

このモデルの優れた点は、これら2つのミッションが互いに刺激し合い、ケアと貢献の自立したサイクルを生み出す点です。

1. 互惠性の原則：移動に関する支援を受けている高齢者は、自宅からビデオ通話で若者を指導することで、新たな活力を見出すかもしれません。身体的な制約が、貢献できる能力を制限するわけではありません。
2. 世代間サービslラーニング：「将来有望な若い弟子」は、知恵を授かるだけではありません。他的高齢者のケアやサポート活動に参加することで、単位や奨学金を得たり、単に市民としての義務を果たしたりすることもできます。テクノロジーに精通した若い弟子は、メンターや他的高齢者に新しいソフトウェアの使い方を教え、高齢者は、彼らに戦略的思考を教えるのです。
3. 一体感のあるコミュニティの構築：これにより固定観念を打ち破ります。若者は、高齢者を重荷ではなく、力と知識の宝庫と見なします。高齢者は、若者を無目的な存在ではなく、活力に満ちた将来有望なリーダーと見なします。これは、年齢を超えた共感と相互尊重を育みます。
4. 持続可能な資金調達：創出された価値は、多様な資金源を引き付けます。企業は、将来の人材育成のためのメンターシップ・プログラムを後援するかもしれませんし、医療や地域社会からの助成金は、高齢者支援サービスに資金を提供するかもしれません。実証済みの社会的ROIは、投資を強く促すものです。

実装モデル

これは、単なる組織ではありません。より健全で、より繋がりのある社会のための青写真なのです。コミュニティの強さは、GDPだけでなく、高齢者をいかに扱い、最も若い者をいかに育てるかによって測られることを認識しています。

あらゆる世代が何か重要なものを提供し、支援を受けることができるシステムを構築することで、知恵が脈々と受け継がれ、思いやりが社会の文化となる世界を築くことができます。これは、高齢者が目的と支えを得て老後を生き、若者が導きと心を持って人生の歩みを始めることができるという約束です。この二つの糸を紡ぎ合わせることで、私たちは、すべての人々にとって、より強く、より賢明で、より、思いやりのある社会構造を創り上げます。



エドワード・K・W・オン国際会長の就任式
第31回アジア太平洋地域大会（熊本）にて

国際本部ニュース

国際書記長 ジョース・ヴァルギース



秋の気配が感じられるジュネーブからご挨拶申し上げます。国際本部オフィスは、YMIのクラブとその使命への継続的な支援に尽力しており、活気に満ち溢れています。

日本の熊本で開催された立法議会（ICM）の議事録が完成し、あらゆるレベルで私たちの運動に影響を与える重要な最新事項がいくつか含まれています。これには、15名以上の会員を有する新クラブの国際加盟費免除の継続、および未使用のYES収入を新クラブの備品費用の一部に充当することなどが含まれます。

さらに、YMIのいくつかの国際プログラムにさまざまな変更が加えられました。

アレキサンダー奨学基金（ASF）

- 名称をアレクサンダーサポート基金に変更し、ファンドの目的を拡大して、YMCA のさまざまなプロジェクトや取り組みをサポートします。
- 地域資金の利用に関する報告要件の強化（集まった献金の70%）
- 各クラブ会員には年間5 CHF の献金が求められます。

エンダウメント基金（EF）

- 献金レベルの改訂、個人、家族、クラブの献金者を区別し、ポール・ウィリアム・アレキサンダーフェローおよびオーナーロール会員に対する二重、三重、および複数の表彰カテゴリを導入しました。
- EF への年間献金額の 20% を、次期クラブ会長研究所を通じたエリアレベルのリーダーシップトレーニングに充てることにしました。

タイム・オブ・ファスト（TOF）

- TOFに申請するクラブは、グッドスタンディングな状態にあり、投票権を持っていることに加え、前年にTOFに献金を行っていない必要があります。
- 新しい申請期間は、8月15日から11月15日までです。
- 対応する地域のリーダーによるクラブプロジェクトの承認と優先順位付け
- プロジェクト予算の少なくとも25%がすでにクラブで確保されている必要があり、また、実施を成功させるには十分な資金または現物リソース（労働力、物資など）の証明も必要です。

新しいTOFポリシーとガイドラインは代表者立法協議会（LAR）によって承認されました。確認をお願いいたします。マニュアルレビュー審査委員会は、ASFとEFの更新内容を関連ポリシー文書に組み込む任務を負っており、今後数か月以内に公開される予定です。TOF申請フォームは、すでに公開されています。

年次報告書は、現在最終調整中で、今月中に配布される予定です。2024/25年度のハイライトに加え、バランタイン賞、エルマー・クロウ賞、コミュニティサービス賞など、様々な賞や表彰の受賞者を掲載しています。特に注目すべきは、8月のアジア太平洋地域大会において、V・S・バシール元国際会長にハリー・M・バランタイン賞が授与されたことです。この栄誉ある賞の受賞を心からお祝い申し上げます。

また、以下の皆さんが名誉会員に就任されたことをお知らせいたします。シジュ・アブラハム・ヴェルギス（インド）、ディネシュ・マティアス（インド）、ジョセフ・カンジャマラ（米国）、ソマン・ピライ（UAE）、シェリング・テケッカラ（UAE）。名誉会員の全リストは、こちらをご覧ください。

9月に入り、会員増強と維持に注力していきます。9月1日から12月9日まで開催される毎年恒例の「100日間会員増強キャンペーン」に、すべてのクラブの皆さんにご参加いただきますようお願いいたします。クラブの皆さんには、地域社会との交流を深め、会員候補者を発掘し、YMIを紹介するオープンハウスなどのイベントを企画していただくようお願いいたします。各クラブは、今年、3名の新会員を迎えるという目標を設定しています。この目標達成に向けて、皆さんのご協力をお願いいたします。キャンペーン動画は、こちらをご覧ください。

最後に、YMCAとの歴史的なパートナーシップ強化の一環として、YMIクラブ会員が、2026年7月にカナダのトロントで開催される世界YMCA評議会への参加に招待されたことを、大変光栄に思います。登録は、現在受付中で、締め切りは、2026年6月17日です。詳細は世界YMCA評議会のウェブサイトをご覧ください。

YMIファミリーでは、9月19日～20日に昌原で開催される韓国地域大会に向けて準備が進み、興奮が高まっています。韓国地域のクラブ会員の皆様には、刺激に満ちた大会の成功をお祈り申し上げます。

この勢いをそのままに、皆さんの変わらぬご支援とご愛顧を賜り、2025/26年度がYMIにとって輝かしい年となるよう尽力してまいります。

プラチナ、ダイヤモンド、 ゴールデンクラブを祝して

強力な会員基盤は、活気あるクラブの心臓部です。2024/25年度には、いくつかのクラブが新たな高みに到達し、プラチナ（会員数100名以上）、ダイヤモンド（会員数75名以上）、ゴールデン（会員数50名以上）のカテゴリーで表彰されました。これらのクラブは、卓越したビジョン、エネルギー、そして成長への献身を示し、YMIファミリーにおける輝かしい模範となっています。

プラチナクラブ（会員数100名以上）

- マンダル・ワイズメンズクラブ（ノルウェー）
- ジョンアップ・サムゴル・ワイズメンズクラブ（韓国）

ダイヤモンドクラブ（会員数75名以上）

- ナシュワークシス・ワイズメンズクラブ（カナダ）
- カライクディ・ワイズメンズクラブ（インド）
- コレンチェリー・ワイズメンズクラブ（インド）
- スタヴァンゲル・ワイズメンズクラブ（ノルウェー）

ゴールデンクラブ（会員数50名以上）

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| • アンブオリ・セントラル・ワイズメンズクラブ（インド） | • チョンジュ・ナヌム・ワイズメンズクラブ（韓国） |
| • チェンガンヌール・ワイズメンズクラブ（インド） | • チョンジュ・ブンナムワイズメンズクラブ（韓国） |
| • コーラム・ロイヤルズ・ワイズメンズクラブ（インド） | • チョンジュ・スター・ワイズメンズクラブ（韓国） |
| • 京都グローバル・ワイズメンズクラブ（日本） | • チュン・ウブ・ワイズメンズクラブ（韓国） |
| • 京都パレス・ワイズメンズクラブ（日本） | • ミルヤン・ワイズメンズクラブ（韓国） |
| • 京都トップス・ワイズメンズクラブ（日本） | • モッポ・ビバ・ワイズメンズクラブ（韓国） |
| • オステンスタッド・ワイズメンズクラブ（ノルウェー） | • ナム・ウォン・ワイズメンズクラブ（韓国） |
| • ボソン・ワイズメンズクラブ（韓国） | • ヨス・ジンナム・ワイズメンズクラブ（韓国） |
| • チンド・オク・ジュ・ワイズメンズクラブ（韓国） | • ヨス・オーシャン・ワイズメンズクラブ（韓国） |
| • ガン・ヤン・ビジョン・ワイズウィメンズクラブ（韓国） | • 台中エバーライフ・ワイズメンズクラブ（台湾） |
| • ホンブル・ワイズメンズクラブ（韓国） | • ドバイ・ワイズメンズクラブ（アラブ首長国連邦） |
| • チョンジュ・ハンマウム・ワイズメンズクラブ（韓国） | • シャルジャ・ワイズメンズクラブ（アラブ首長国連邦） |
| • チョンジュ・フクシン・ワイズメンズクラブ（韓国） | • ニューヨーク・ロングアイランド・Yサービスクラブ（米国） |

これらのクラブは、YMIの真髄である強さ、友情、そして奉仕への献身を体現しています。彼らの功績は、成長は、可能であるだけでなく、大きなやりがいをもたらし、クラブと私たちが奉仕する地域社会の両方を豊かにすることを私たちに思い出させてくれます。ここに掲載されているすべてのクラブの皆さん、この当然の認定を心よりお祝い申し上げます。世界中のすべてのクラブの皆さん、この成功を励みに、絆を深め、勇気を持って手を差し伸べ、YMIファミリーに新しいメンバーを迎え入れてください。今後、さらに多くのクラブがプラチナ、ダイヤモンド、そしてゴールデンのランクに加わることを楽しみにしています。全クラブリストは<https://www.ysmen.org/club-categories/>をご覧ください。

会員増強

会員増強国際事業主任 ヴァルギース・コラソン



突然の突風が車の上の紙を吹き飛ばしたため、その夜のワイズメンのイベントのために慎重に作成したプログラムスケジュールが消えてしまったことにカメラマンは落胆しました。

彼は、その晩のスケジュールを綿密に計画し、その心配は、手に取るように分かりました。しかし、彼の写真の被写体である私たちは、彼の心配など気にも留めず、陽光の中に立っていました。

その少し前、ケララ州ティルヴァナンタプラムのスリームーラム・クラブで昼食後、クラブを出る際に通行人に写真を撮ってもらうよう頼んでいました。幸いにも、カメラマンは、私たちの写真を撮る前に、その紙を回収し、安全に保管してくれました。

別れ際にワイズメンのプログラムについて尋ねたところ、彼は、熱心に目を輝かせながら活動の詳細を語ってくれました。私自身もワイズマンのひとりで、米国地域の北大西洋区理事を務めていることを明かすと、彼の表情は、驚きから喜びへと変わりました。

彼は、私を友人たちに紹介してくれて、彼らからクラブ会長就任式のゲストスピーカーとして招待されました。私は、ためらうことなく、エクステンションと会員増強の国際事業主任としての役割を果たす機会だと考え、その申し出を受け入れました。

この偶然の出会いは、人生には思いがけない瞬間が満ち溢れ、それが私たちの人生を大きく形作るのだということを改めて思い出させてくれました。ワイズメンの兄弟愛の絆は真に特別なものであり、地理的な境界を越え、意味深い繋がりを育みます。

この経験を振り返り、私たちの運動は、激動の時代に希望の光となり、人々に前向きな変化を求める勇気を与える可能性を秘めていることに気づきました。共通の価値観を受け入れ、共に歩むことで、すべての人にとってより明るい未来を築くことができるのです。

リーダーとして、私たちは、変革を推進するために、仲間意識と兄弟愛の力を信じなければなりません。エクステンションと会員増強の国際事業主任として、私は、私たちのコミュニティが世界に善をもたらす力となるよう、力づけることに尽力していきます。



戦略2032

戦略2032タスクフォース委員長 ヘンリー・ワルサー

ワイズメン、ワイズウィメンの皆さん、こんにちは!

先月は戦略計画の重点月間でした。私は戦略2032チームの委員長として、最近のいくつかのマイルストーンを改めて振り返り、チームの将来ビジョンを共有し、戦略2032のアジェンダ実現に向けて、地域のクラブで行動を起こすよう呼びかけたいと思います。

2024年はYMIと「戦略2032」の目標にとって歴史的な年となりました。特に注目すべきは、6月に投票権を持つクラブによる新たな国際憲法の圧倒的多数での承認です。この決定的な一歩により、YMIはスイスの協会法を遵守し、ジュネーブを拠点とする非営利団体としての法的地位を確立しました。2か月後の8月には、以前は「ガイドライン」と呼ばれ、憲法本文に含まれていた付則が、タイのチェンマイで開催された立法協議会（国際議会）の年次総会で承認されました。

戦略2032とは何ですか？

戦略2032は、YMIをフェローシップと地域社会への貢献において卓越した組織へと成長させ、平等で持続可能な世界の創造に向けて、共に刺激を受け、協力して活動していくための10年間の青写真です。この戦略は、私たちが2世紀目を迎えるにあたり、共に繁栄し、永続的で前向きな変化をもたらしたいという私たちの願いを表明するものです。文化、宗教、そしてジェンダーの多様性が重要であることを強調しています。また、若者の声を大切にし、彼らのフィードバックに応じて私たちの運動を適応させていくという決意を表明するものでもあります。

YMIの伝統を守るために、YMIはミッションパートナーとしてYMCAと協力関係を継続していく必要があります。同時に、YMIを独自のブランドとして強化し、そのブランドを通して、フェローシップと奉仕の力の両方を強調していくことが不可欠です。

改革（イノベーション）は、私たちの未来を確かなものにし、現代社会における私たちの存在意義と魅力を確かなものにするために不可欠な、もう一つの重要な要素です。これには、デジタルメディアやその他のテクノロジーの戦略的活用の強化、資金調達への創造的なアプローチ、そして伝統的な奉仕クラブの形態における協力とフェローシップの機会の拡大が含まれます。

振り返ってみると、以前の戦略2032行動計画は次の3つの中核的な課題に重点を置いていたことを思い出します。

- われわれの奉仕の新しい世紀における、現在の世界の現実
- メンバーの情熱と献身
- 若い世代の優先事項

これらは、引き続き戦略2032のビジョンを形作り、組織を前進させ、エドワード・オン国際会長の2025/26年の行動計画であるYMI Focus 2.4に沿って、チームが特定した今年の目標の基盤として機能します。

YMI戦略2032

2025/26年度行動計画

革新

- 地域レベルでCPEインスティテュートのトレーナー研修（ToT）を実施する
- 5カ国でRBMプロジェクトを実施する
- 新しいクラブ指導チームを設立する

アイデンティティー

- YMCAチェンジエージェントおよびNGSを通じてYMCAとの関係を強化する
- 平和ブランディングイニシアチブ（韓国モデル）を拡大する
- 健康、教育、環境に関するプロジェクトに取り組む
- 近代化されたブランドと調整されたPR戦略を開発する
- デジタルプラットフォームでプロジェクトを紹介する
- 世界的な影響力のあるストーリーテリングキャンペーンを開始する

包摂性

- 若者と女性のためのメンターシッププログラムを創設する
- 高齢者向けメンタルヘルスプログラムを開発する

成長

- プログラムへの献金額を20%増加させる
- 少なくとも100の新しいクラブを結成し、会員数を10%増加させる
- ワイズメンズクラブの存在する国を100カ国にする



ヘンリー・ワルサーとサンタモニカ・部
レックファースト・ワイズメンズクラブの
新会員2名

アフリカ地域

アフリカ地域ニュース編集者—ジョウン・マティ

アフリカ地域は、成長と活動を継続しています。7月に2025/26年度のリーダーが就任した際の勢いを基盤に、カカメガYサービスクラブによる300人の代表者が参加した素晴らしい式典と研修プログラムを含む一連の引継ぎイベントを通して、メンバーは、意義深い活動を継続しています。

2025年8月8日、カカメガYサービスクラブのブリテン編集長を務めるジャーナリスト兼メディア専門家のジャレッド・ムダニャが、カカメガワイズユースクラブを対象に、メディア実践の基礎に関する研修を実施しました。カカメガクラブは設立以来、報告書、写真、ビデオ撮影、アーカイブ化を通じて活動を継続的に記録しており、アフリカだけでなく世界中の他のクラブにとって重要な模範となっています。



同日、アルーシャ・ワイズメンズクラブは、アルーシャで親睦会と会員募集活動を行いました。アドルフ・オロミ元理事が、入会希望者と既存会員の両方を対象に研修を行い、YMI運動の理念を共有しました。



2025年8月13日、カンパラ・ワイズメンクラブは、ルーク・ムワナカトウェ理事と共に、コロロ高校で地域奉仕プロジェクトを実施しました。チームは、貯水タンク2基、女子生徒へのスポーツとレクリエーションの促進を目的として生理用品、そしてサッカーボールを提供しました。



2025年8月14日、ナイロビ・メトロ、ナイロビ・トリプルY、カカメガのYサービスクラブがナイロビのランガタ女性刑務所で協力して活動しました。女性受刑者に化粧品や食料を提供し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）への支援として、刑務所敷地内で植樹活動を行いました。



アジア太平洋地域

アジア太平洋地域ニュース編集者ー 利根川恵子

第31回アジア太平洋地域大会（熊本）



熊本大会の写真をもっと見る
にはクリックしてください！

アジア太平洋地域ユースコンボケーション（熊本）



全国卓蘭マラソン - 2025年11月2日

今年、台湾区では全国卓蘭マラソンが開催されます。約3,000人のランナーの完走が予想され、コース沿いの数キロごとに設置される給水所では、地元の人々の温かいおもてなしを受けます。昨年は、大野勉元地域会長と田上正地域会長がレースに参加し、前田佳代子書記、利根川恵子元地域会長、利根川太郎川越クラブ会長が会場でランナーの応援を行いました。

クリックして昨年のハイ
ライトをご覧ください！



インド地域

インド地域ニュース編集者—ジョセフ・ヴァルギース



こんにちは

私たちの運動の強みは、エクステンションと会員維持・増強という二つの柱にあります。エクステンションは、新たな奉仕の扉を開き、新鮮なエネルギー、才能、そしてアイデアをもたらします。一方、会員維持・増強は、既存の会員が価値を感じ、積極的に参加し、私たちと共に歩み続ける意欲を掻き立てられるよう支援します。

したがって、私たちは、両方に焦点を当てましょう。真のフェロウシップの精神で新しいコミュニティに手を差し伸べると同時に、現在のメンバーの貢献を認め、積極的な参加を奨励し、真の友情の絆を育むことで、彼らを育成し、維持しましょう。

一緒に、より強力なクラブ、活気ある区、そして私たちの運動の永続的な遺産を築き上げていきましょう。

中東区

アル・アイン・ワイズメンズクラブは、新チームの結成を、力強い社会貢献活動として、アル・アイン最大級の献血キャンプの開催で飾りました。NBHHアル・ヌード現地事務所で開催されたこのイベントには、多くのワイズメンやワイズメネットを含む約100名の献血者が熱心に集まりました。イベントは、大成功でした！予定時間を超えてもまだ多くの人が待っており、すぐに第2回目の献血活動が計画されました。アシャ・ジェイコブ・クラブ会長、ソニー・シント・ワイズメネット会長、そしてジャスティン・ジョージ・直前クラブ会長が、この助成金イベントの運営を主導しました。



南インド区



アナンド・ジェイコブ・ヴェルギースは、長年にわたるその優れたリーダーシップ、揺るぎないサポート、そして貴重な指導に対して、南インド区とマイラポール・クラブから表彰されました。

インド中西部



インド中西部の区評議会



世界環境デー2025イベント

西インド区



クナムクラムタウン・ワイズウィメンズクラブは、障がいを持つ女性のケアに特化した施設で独立記念日を祝いました。



ダルマサラ・ラ・フェム・ワイズウィメンズクラブは、8月22日、マンガドで「母親のためのオナッコディ」プロジェクトを立ち上げました。

南インド区

サティヤマンガラムシェローズ・ワイズウィメンズクラブは、8月12日にPHC ウカラム村で母乳育児啓発週間のお祝いを開催しました。



南西インド区



8月27日、カルティカッパリー・ワイズメン村で7軒目の家の定礎式と2軒の家の正面玄関の設置が行われました。



8月16日に実施された、メネットツアー「Femme Furlough」

ヨーロッパ地域

ヨーロッパ地域ニュース編集者ービルジット・ジェイコブセン

デンマークのアルスンドクラブのための 新しくエキサイティングなプロジェクト



セナボーにおけるアパート解体工事に際し、自治体、住宅協会、そして解体業者は、撤去されたすべての資材のリサイクルに重点を置くことを決定しました。これは持続可能で先進的なアプローチです。アルスンド（ソナボーII）ワイズメンズクラブには、これまでとは異なる新たな任務が与えられました。冷蔵庫、コンロ、トイレ、洗面台など、中古の家電製品や水回り設備の販売です。さらに、多くの来場者にソーセージやソフトドリンクを販売し、軽食の提供も行いました。4日間、熱心なクラブメンバーの間で、懸命な努力、明るい雰囲気、そして素晴らしい友情が生まれました。その結果、プロジェクト基金に約24,000デンマーククローネ（3,500米ドル）の利益がもたらされ、そして同様に重要な、新たな人脈と将来の活動の機会も得られました。クラブは再び、リサイクル活動と活気あるクラブ生活の両面で、力を合わせ、積極的に貢献できることを示しました。

「誰もが充実した人生を送る権利がある。」ブルガリア



これは、スター・オブ・ホープ財団のモットーです。この団体は26年間、社会的、民族的、その他の面で恵まれない状況にある子どもや若者を支援し、生活、教育、就労、成長、そして社会への統合における平等な機会を提供してきました。ソフィア・イーストワイズメンズクラブは、クラブ設立当初から財団と協力し、そこで暮らす人々、そして既にシェルター付き住宅のサービスを受けている人々の未来を深く心に留めています。会員一人ひとりが、個人資金、チャリティーバザー、労働、そして献金を通して、財団の活動を支援しています。

ソフィア・イーストクラブは、ワイズメンズクラブ国際協会と共同で、シェルターホームと財団事務所が入っている建物の改修・再建プロジェクトを2件完了させました。かつてこの建物は、暗く陰鬱で、ひび割れ、陰気で、崩れかけており、ホームレスが残した古い持ち物やゴミの山で埋め尽くされていました。今では、幼少期に親に捨てられたり、孤児になったりした若い女性たちにとって、明るく温かく居心地の良い家となっています。

これは私たち全員にとって満足感をもたらします。しかし、最も重要なのは建物そのものではなく、私たち全員のおかげで変容する人々の生活なのです。

ナディア：精神障がいを持つ若い女性が、この施設で安心感を得ました。この団体は、彼女が仕事を見つけ、自立した人間としての自信を持てるよう支援しました。

ヴェセラ：彼女は、多大な努力とソーシャルワーカーの助けを借りて教育のギャップを克服し、今では資格を持ち、薬剤師として働く妻、そして2人のすばらしい息子の母親です。



ベサラと彼女の家族 - 夫と2人の子供とソーシャルワーカー



ナディア

アクシニア：子供の頃、母親が自己防衛のために父親を殺害するのを目撃した若い女性で、家庭内暴力撲滅に取り組んでいます。財団の人々の忍耐と愛情のおかげで、アクシニアは現在、ソフィア大学で社会福祉学の学位を取得し、時折、シェルターホームで手伝いをしています。

これらは、この組織の支援を通して未来を見つけた人々のほんの一部です。スター・オブ・ホープ財団の活動を通して、より多くの若者が自らの可能性を実現し、普通の生活への希望を得られることを願っています。これは現在も続くプロセスであり、私たち全員がその実現に向けて努力を続けています。



現在この家に住んでいる女の子たち：
ツヴェティ、ナティ、サマンサ、ナディア



アクシニア

韓国地域

韓国地域ニュース編集者-チュン・キョンジュ

韓国地域、大規模な洪水からの復旧活動に着手



3年前、韓国地域は、気候変動関連の災害に対応するため、全国規模の緊急救援チーム「ワイズメンヘルパーズ」を立ち上げました。今年7月29日、武蔚京（ブウルギョン）部の慶南と金海（キムヘ）部のメンバーは、晋州道のキム・ジョンデ首席司祭とゆかりのある山清郡丹城面石台村で、7月の集中豪雨による壊滅的な洪水と土砂崩れの被害からの復旧作業の第1ラウンドを主導しました。ボランティアたちは家屋の清掃、泥や瓦礫の撤去、損傷した家具や作物の回収を行いました。全州ロイヤル（韓国全北地域）や首露（韓国武蔚京地域）などのクラブは、クラブメンバーの被災家族に直接支援を提供しました。

第2弾の復興活動は、8月9日に行われ、韓国釜山広域市、大邱広域市、全北広域市、済州道の各地域から110名のクラブ会員が丹城面に戻り、甚大な被害を受けた白雲村の支援を行いました。AP通信の朴慈相記者が評価した彼らの活動には、温室の修理、土砂崩れの瓦礫の撤去、農地の復旧などが含まれていました。猛暑の中、ボランティアたちは忍耐強く、ユーモアと友情をもって休むことなく働き、その活動の様子を記念写真に収めました。

BF代表の日本訪問



ソウル・ハンヤンクラブ（韓国ソウル区）のチ・スンウォン元理事は、BF代表としての旅を終え、2025年8月1日から3日まで熊本で開催された第31回アジア太平洋地域大会への参加費の一部補助を受けました。数日早く熊本に到着したチは、7月29日午後から熊本YMCAで開催された代表者立法協議会の傍聴も行いました。関係者に配布された報告書の中で、チ・スンウォンは、代表者間の強い結束の精神、そして意見の相違はあったものの合意形成に向けて積極的に活動したことを指摘しました。

彼は、アジア太平洋地域大会の充実したプログラムを称賛しました。感動的な基調講演、文化交流、そして今日のYMIに関連する問題についての考察が盛り込まれていました。大会中、彼は、韓国地域のBF代表として挨拶し、アジアの自然の美しさを振り返り、この地域の永続的な平和への希望を表明し、自然災害の脅威と破壊に対する日本の回復力と揺るぎない対応への連帯を表明しました。

米国地域

米国地域ニュース編集者－カアイフエ・ヨシダ

北大西洋区評議会



北大西洋区評議会の第1回会合は、7月20日（日）、ニューヨーク州フローラルパークのタイソンセンターで、ジョージ・K・ジョン区理事の議長の下で開催されました。会合では、新たに選出された地域会長のジョセフ・カンジャマラが歓迎され、区事業主任向けの研修が行われました。

ジョージ理事は、より多くの人々にリーチし、より大きなインパクトを与えるために、慈善活動の拡大とクラブの関与強化へのコミットメントを改めて表明しました。シャジ・ザカリア区会計は、過去2年間の財務状況を発表しました。前地域会長のシャジュ・サムをはじめ、著名な地域リーダー数名が出席し、スピーチやメッセージを寄せました。地域は今、活気に満ちた、影響力のある1年を心待ちにしています。

マイルズ4スマイルズ

グレーター・フィラデルフィア・ワイズメンクラブは、9月20日にペンシルベニア州ベンセラムのネシャミニー州立公園で「マイルズ・フォー・スマイルズ」5kmランを開催します。これは、がん撲滅活動の推進に貢献するだけでなく、地域社会の活性化にも貢献します。YMIの名の下に、人々が意義深い活動のために団結し、活動的で健康を維持するよう促すイベントです。複数のスポンサーの支援を受け、資金調達活動として成功を収めることが期待されています。





2018年1月にカイルア・ハウスレス・ケア・サービスが立ち上げられて以来、ウィンドワード・Yサービスクラブは熱心に継続的に参加しています。毎月最終火曜日に開催されるこの取り組みは、ハワイ州カイルアで増加するホームレスの人々を支援するために、ウィンドワードYMCA、デイブレイク教会、地元の福祉団体の協力を得て始まりました。毎月、参加者は、衣類、散髪、シャワー、昼食、トイレタリーなどの生活必需品のサービスを受け、さまざまな地域資源も利用できます。ウィンドワード・Yサービスクラブのメンバーは、定期的にボランティア活動を行い、設営や撤収、トイレタリーの配布、必要なサポートを提供しています。年に2回、クラブは、ソーセージやグラノーラバーなどの保存食を詰めたスナックパックを寄付しています。特別なクリスマスイベントでは、お祝いのランチを準備し、寄付された品物をギフトバッグに詰める手伝いをし、ギフト券を提供してホリデーシーズンの雰囲気盛り上げています。

クラブはウィンドワードYMCAと緊密かつ積極的なパートナーシップを維持しています。YMCA支部長はクラブ会員であり、会員は、YMCAの年次募金キャンペーンに継続的に貢献しています。さらに、クラブは年に2回、地元のクプナ（高齢者）のために昼食を用意し、最近ではビンゴの賞品としてスナックを寄付しました。クラブはYMCAのイベントでの売店運営や、毎年恒例の植物販売の開催など、継続的な支援を行っており、収益の一部はYMCAに寄付されます。ウィンドワード・Yサービスクラブは、ウィンドワードYMCAとカイルア地域全体への奉仕に深く尽力し、困窮している人々の支援と、永続的な影響を与えるプログラムの強化に尽力しています。



壁を壊そう

リーラ・ゴパークリシュナ

ワイズメネット国際主任、次期区理事（インド、中央トラヴァンコール）



ワイズメネットが世界的な女性コミュニティとして結束する中で、私たち一人ひとりの内に秘められた驚くべき強さと回復力に感謝したいと思います。1975年にワイズリング（コメット）としてワイズメンズクラブ国際協会に加わり、輝かしい50年間に経験と専門知識を積み重ね、国際主任として国際レベルでリーダーシップを発揮するという栄誉に恵まれました。この道を通って、女性のエンパワーメントがもたらす変革の力を目の当たりにしてきました。

エンパワーメントは与えられるものではなく、私たちが主張するものなのです。それは、女性が成長し、リーダーシップを発揮し、最大限の可能性を発揮できる環境を創り出すことを意味します。教育、機会、そして社会的、経済的そして政治的な表現への平等なアクセスを確保することを意味します。固定観念を打ち破り、障壁を取り除き、女性が自信を持って成長できる支援システムを構築することを意味します。

- 教育は、知識、スキル、規範に挑戦する自信を女の子と女性に与えます。
- 経済的エンパワーメントは、公正な賃金、融資へのアクセス、起業の機会、差別からの自由などを通じて自立をもたらします。
- 政治参加は、女性に政策形成の声、決定への影響力、正義の推進を与えます。
- 医療、安全、尊厳は、エンパワーメントの基盤、暴力や嫌がらせからの自由を保証します。
- メンターシップとネットワークは、私たちを結びつけ、高め、私たちの力を倍増させます。

しかし、忘れてはなりません。エンパワーメントは、他者から与えられるのを待つべきものではありません。私たちは、変革者であり、革新者であり、明日のリーダーなのです。私たちは、自分自身を信じ、固定観念を乗り越え、困難に立ち向かわなければなりません。偏見や差別に直面したときは、団結して立ち向かいましょう。小さな勝利でも大きな勝利でも、それを祝いましょう。つまりいた時は、より強く立ち上がりましょう。私たちは共に、平等と正義を求める、より広範で止めることのできない運動の一部なのです。

確かに、国際的なコミットメントと進展は、達成されてきました。児童婚や有害な慣習は減少し、女性の発言力は政治やリーダーシップの分野で高まっています。しかし、ジェンダー平等という約束は、完全には果たされていません。今後の課題は明確です。私たちは、大胆かつ粘り強く、歩み続けなければなりません。私たちは、単なる参加者ではなく、リーダーです。単なる夢想家ではなく、実行者です。共に、想像をはるかに超える、より明るく、より大胆で、より美しい未来を創造しましょう。

私の人生における素晴らしい女性たちへ、親愛なるワイズメネットの皆さんへ、私は、あなた方に祈ります。

困難に立ち向かう強さ

- 臆することなく夢を追いかける勇氣
- 自分の本能と直感を信じる知恵
- 本当の自分になれるよう力づける愛とサポート
- 他の人も輝けるように刺激を与えるほど明るい光
- 聞かれる声、尊重される選択、そして変化のきっかけとなる夢
- 未来の世代にとって希望の光となる回復力
- 自分の最高の可能性に決して満足しない勇氣

一緒に鎖を断ち切り、壁を打ち破りましょう！



100日間会員増強 キャンペーン

9月1日 から **12月9日**

クラブは、エクステンションチームを作成するよう勧められています。エクステンションチームとは、3人または4人のクラブメンバーが協力して新しいメンバーを招き入れ、新しいクラブを設立する機会を探るチームのことです。

このような協力関係は、仲間意識やアイデアの共有を高め、成功の可能性を高めることができます。また、普及活動を威圧的なものではなく、刺激的なものにすることもできます。

戦略2032の文脈において、家族との関わりを重視し、より若く、多様なメンバーを惹きつけることを推奨します。愛、思いやり、犠牲、そして無私という私たちの価値観を信じる方であれば、どなたでも私たちの奉仕の仲間としていつでも歓迎いたします。

ワイズメンズクラブ国際協会と 国連プログラム

ロイス・マラセリー 国連プロジェクト委員会メンバー編纂



国連は、人間の生活、文化、政治史、そしてエコロジーに焦点を当てた国際デーを数多く設けています。これらの記念日は、YMCAやワイズメンズクラブ国際協会といったNGOによって実施されることが多く、国連の取り組みを草の根レベルにまで浸透させています。国連憲章は、世界的な経済、社会、文化、人道問題の解決、そして人種、性別、言語、宗教の区別なく人権と自由の尊重を促進するための国際協力を強調しています。

国連は9月に、国際識字デー、国際民主主義デー、国際オゾン層保護デー、国際平和デーなど、いくつかの重要な記念日を強調しています。

国際識字デー（9月8日）

この日は、非識字に対する世界的な取り組みを促し、個人と国家の発展における識字の役割に対する意識を高める日です。多くの国が依然として非識字に苦しんでおり、これが持続可能な開発の妨げとなっています。2025年のテーマは「デジタル時代における識字の促進」です。

国際民主主義デー（9月15日）

2007年の国連決議によって制定されたこの日は、世界中の政府に民主主義の強化を促しています。「人民による統治」を意味する民主主義は、政治的平等、透明性、そして人民による統制を基盤としており、民主主義の原則に反する神政政治や独裁政治とは対照的です。

オゾン層保護のための国際デー（9月16日）

2000年に国連によって宣言されたこの日は、1987年のモントリオール議定書の調印を記念する日です。オゾン層は、地球を有害な紫外線（UV）から守り、人間、動物、植物、そして生態系を保護しています。オゾン層の破壊を防ぐための解決策としては、車両の使用削減、農薬やオゾン層破壊物質の使用回避、亜酸化窒素の使用禁止、再生可能エネルギーの導入、リサイクルの促進などが挙げられます。

国際平和デー（9月21日）

1982年に初めて制定されたこの日は、世界平和、非暴力、そして対話を促進する日です。毎年新たなテーマが掲げられます。国連は24時間の停戦と非暴力を呼びかけ、個人や組織に対し、紛争の平和的解決を強く求めています。ワイズメンズクラブ国際協会などのNGOは、地域レベルで寛容、尊重、そして理解を育む平和プログラムを企画することで、この取り組みを支援することができます。

デヴォーション

立法協議会代表（国際議員）のミラ・パブロワによる熊本で最近開催された立法協議会でのデヴォーションから

親愛なるワイズメン、親愛なる友人の皆さん

皆さんとご一緒できることを大変嬉しく、光栄に思います。このような集まりには、まだ慣れていないので、今日ますます重要になっていると思うことについて、考えを少し述べさせてください。それは、帰属意識です。昨年、タイのチェンマイで開催された国際大会（私にとって初めての大規模なワイズメンのイベント）に参加する機会がありました。好奇心と興奮とともに参加しましたが、同時にいくつかの疑問も抱えていました。これほど多くの国や背景を持つ人々の中で、自分の居場所を見つけられるだろうか？人と繋がることができるだろうか？

そこで経験したことは、最高の意味で私を驚かせました。オープンな心、優しさ、そして真の繋がりを感じました。多様性に富んでいるにもかかわらず、そこには共通の精神、つまり仲間意識と相互尊重の精神がありました。

この経験を通して、真のコミュニティは、類似性や義務感ではなく、信頼、励まし、そして小さなことでも思いやりに基づいて築かれるのだということを思い起させました。

今日の世界、特に若い世代では、生活の多くの部分がオンラインで行われています。多くの人が画面越しの快適な空間に閉じこもることに慣れきっています。しかし、このような集まりは、直接会うことの価値、つまり一緒に集まり、時間を共有し、語り合い、時には沈黙することの価値を教えてください。こうしたシンプルで人間的な瞬間が、何か意味のあるものを作り上げていくのです。



故郷や近隣諸国でも、このことを目の当たりにしてきました。デンマークとブルガリアのワイズメン・コミュニティは、一貫性、友情、そして支え合いが実際にどのようなものかを私に示してくれました。彼らは、永続的な関係がどのように築かれるか、そして正式なプログラム以外でも、どのように互いに支え合えるかを示す素晴らしい例でした。

同じ精神が世界規模で見られることは、私たちにとって励みとなり、また刺激となりました。たとえ遠く離れて暮らしていても、共通の目的と価値観を持って共に働くことができるということを示しています。

私にとって、ワイズメンは、単なるネットワークではありません。思いやりを持ち、実践的で、時に静かな方法で行動を起こす人々のコミュニティです。こうした献身的な姿勢は、真の影響を持っています。ですから、皆さんに感謝したいと思います。参加、アイデア、時間、家族、地元のクラブ、そしてその先で示してくださった模範に感謝します。

皆さん一人一人がこの運動に独自の何かをもたらしていて、皆さんの存在は、ワイズメンにとってだけでなく、私たち全員が奉仕しようとしているより広い世界にとっても重要です。

これからも、思いやりと誠実さと希望を持ってこのコミュニティを築き上げていきましょう。